

第1回定例会  
3月議会

## 子ども総合支援をさらに充実

### 配達員による0歳児の見守り事業を開始

#### 令和2年度当初予算を可決

第1回定例会3月議会が2月18日から3月23日まで開かれました。令和2年度当初予算やあかし被害者基金条例制定、明石市立あかしユニバーサル歯科診療所条例制定など、議案51件を可決・同意、報告2件を了承しました。なお、明石市住民投票条例制定については否決しました。



2019年9月から2020年3月に市内各地で、計3羽のコウノトリが飛来しました。2月21日にはコウノトリが滞在した大久保町西島の新池と皿池の間に巣塔が設置されました。

3月23日の本会議では、0歳児の見守り事業などを含む令和2年度一般会計予算を全会一致で可決しました。

本事業は、子育てに最も不安や負担を感じる時期にある0歳児のいる家庭に対して、子育て経験や知識のある配達員が、生後3カ月から満1歳の誕生日まで毎月3千円相当の赤ちゃん用品を配達するものです。この定期的な関わりにより、保護



健やかな成長のために

者の不安や悩みを聴きながら見守りを行うことで早期の支援につながることも、子育てに役立つさまざまな情報も届けるとしています。

対象は、今年4月1日以降に生まれた乳児を養育している家庭で、申請により10月から配達を開始する予定です。令和2年度の予算は、6300万円を計上し、配達業者と3年の長期契約により実施することとしています。なお、配達用品は、紙おむつをはじめ複数の商品から選択できるようになっています。

審査を行った文教厚生常任委員会では、委員から、産後ケアを行っている保健師や助産師から配達員に対して助言や情報提供があるのかとの質問がありました。市からは、個人情報保護の観点から市の把握している情報を配達員に伝えることはないが、特に気になる家庭があれば配達員に見守りのポイントなどを伝えることで、しっかりと連携を図っていくとの答弁がありました。

### 住民投票条例案 資格要件に賛否 賛成少数で再度否決

3月23日の本会議では、明石市住民投票条例案を賛成少数で否決しました。住民投票は、将来にわたり市に重大な影響を及ぼすと考えられる事項について、住民の意思を確認するために行われるものです。本市では平成27年12月議会に同条例案の提案がありました。請求に必要な署名数を市長

の附属機関である住民投票条例検討委員会の答申よりも厳しい有権者の6分の1以上としたことや、投票資格者に定住外国人を含むことなどに反対意見があり、賛成者なしで否決してまいりました。

このたび市は、同条例が未制定の状態を早期に解消するため、検討委員会の答申を最大限に尊重する考えのもと、住民投票の実施請求に必要な署名数は有権者の8分の1以上、署名に押印は不要、署名収集期間は2カ月以内とする一方、答申とは異なり、投票資格者に定住外国人を含まないとする案を提案しました。

- 2 会派を代表して5人が市政を問う 代表質問
- 3 SDGs未来安心都市・明石へ 令和2年度当初予算
- 4 市政を問う 15人が登壇 一般質問・質疑

- 5 先進的な取り組みを視察 委員会の行政視察
- 6 議員よもやま話
- 6 平成31年・令和元年の市議会の活動 会期・議決事項件数

- 7 テーマごとに意見交換 議会報告会を開催
- 8 各議員の議案に対する賛否を掲載 議案の賛否一覧



市議会だよりを  
スマホで読める

※利用にはアプリのダウンロードが必要です。

